

### 資料 3

多施設での介入試験で用いる患者説明書、同意書、エントリー時アンケート、大腿骨頸部骨折チャート、MMSEスコア票

# 多施設による大腿骨頸部骨折の在宅リハビリテーションに関する研究へのご協力をお願い

## 1. 調査の目的

あなたが受傷された大腿骨頸部骨折は、骨そしょう症が原因で起きる骨折の中で最も身体への影響が大きな骨折です。日本では、1年間に約10万人の方がこの骨折を受傷しています。脳卒中や痴呆とならんで、大きな寝たきりの原因となっています。

この骨折を起こすと、治療が順調に進んでも、歩けなくなったり、寝たきりになったりすることがあります。これは、寿命を縮めることにもつながります。

そこで、この度、多くの大腿骨頸部骨折後の患者さんについて、退院後の生活の様子を調査し、一部の方に在宅でのリハビリテーションのメニューをお送りし、自宅で行うリハビリテーションが、運動機能や日常生活をどれくらい改善するかについて調査をすることに致しました。

## 2. 具体的な内容（別紙“今回の調査の流れ”もご覧下さい）

入院中に、骨折前の身体の動きや生活の様子、物忘れの有無などについての簡単なアンケートや面接を行います。これは、主治医または担当調査助手によって行われます。ご家族に電話でお聞きする場合や、アンケートをお送りする場合があります。

骨折の治療やリハビリテーションが終わって、退院された後、約3ヶ月の時点で、その時の日常生活の様子についてのアンケートをお送りします。これに回答の上、返送して頂きます。

この後、約半数の方々には、自宅で行っていただくリハビリテーションの説明のためのパンフレットやビデオテープをお送りします。メニューは、8種類ほどの運動で15分程度でできる量です。この説明に従って、ご自宅で筋肉の力をつけたり、関節の動きをよくする運動を行っていただきます。

残りの半数の方々には、現在気をつけるべき合併症や一般的な注意事項を説明したパンフレットをお送りします。

どちらの方々にも、骨折から6ヶ月後、1年後に再びアンケート調査を行います。

これらの調査結果は、あなたの骨折の診断や治療に関する情報とともに統計としてまとめられ、厚生労働省に報告したり、論文として発表させて頂くと思えます。

また、調査結果のコンピュータへの入力や分析は、主に東京都老人医療センターで行われ、一部、日本臨床研究支援センター（新宿：国立国際医療センター内）に委託されます。

### 3. プライバシーの保護

個人のプライバシーは厳密に保護されます。調査結果については、個人名はもちろん、本人とわかる可能性のある情報はいっさい明かされません。

### 4. 調査にご協力いただけなかった場合

調査にご協力いただけなかった場合でも、何ら不利益を得ることはありません。また、一度同意をされた後でも、後日取り消すことも可能です。

### 5. 費用について

この研究は、厚生労働省による科学研究費により行われています。従って、説明のパンフレットやビデオテープなどを含めて、費用は一切かかりません。

### 6. 参加施設について

この研究に参加している施設は以下の通りです。

東京都老人医療センター	整形外科
東京都多摩老医センター	整形外科
社会保険中央病院	整形外科
日赤医療センター	整形外科
武蔵野赤十字病院	整形外科
大宮赤十字病院	整形外科
茨城県立中央病院	整形外科
湯河原厚生年金病院	整形外科
焼津市立病院	整形外科
虎の門病院	整形外科
虎の門病院分院	整形外科
旭中央病院	整形外科

## 7. さいごに

リハビリテーションのメニューは、歩行のできない方も安心して行える内容になっています。ですが、どうしても自宅での運動ができないという方もいらっしゃるかと思います。また、今の時点では、治療後にどのような状態になるか、予想がつかないという方もあるかと思えます。そのような場合でも、メニューをお送りした後で、リハビリテーションができない旨をご回答いただき、アンケート調査だけでもお答えいただければ、大変ありがたく存じます。

したがって、必ずリハビリテーションができなければならない、ということではありません。アンケートにお答えいただくだけでも、この骨折後の状態像を知る上で、大変有意義な調査となりますので、よろしくご協力頂きますよう、お願い申し上げます。

以上の趣旨をご理解いただき、この調査にご協力いただけるようでしたら、別紙同意書にご署名をお願いします。

ご質問などは、担当の受け持ち医または下記にご連絡下さい。

大腿骨頸部骨折調査事務局

石橋 英明（東京都老人医療センター 整形外科 医長）

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2

（東京都老人医療センター 整形外科内）

電話 03-3964-1141

FAX 03-3964-1982

## 今回の調査の流れ

入院中にしていただくこと

- ・参加の同意：趣旨をご理解の上、同意書に署名をして頂きます。
- ・入院時アンケート調査：  
ご本人または家族の方に答えていただきます。10分程度で終わります。
- ・物忘れのテスト：5分程で終わります。

自宅、施設への退院、他の病院への転院

骨折から3ヶ月後に自宅（または施設、家族の方）へアンケート郵送調査

在宅リハビリをする方、しない方を、事務局で無作為に決めさせていただきます。

在宅リハビリをされる方

在宅リハビリをされない方

お送りします

- ・運動パンフレット
- ・説明ビデオテープ
- ・骨折に関する情報パンフレット

リハビリ、  
頑張ってください。

健康にお過ごし  
ください。

お送りします

- ・骨折に関する情報  
パンフレット

骨折から6ヶ月後アンケート郵送調査

骨折から1年後アンケート郵送調査

終了またはアンケート調査の継続

# 同意書

東京都老人医療センター 整形外科

石橋 英明 殿

わたしは、貴施設で行われる「多施設による大腿骨頸部骨折の在宅リハビリテーションに関する研究」について、この調査に協力することに同意します。

本人氏名：

平成 年 月 日

# 大腿骨頸部骨折についてのアンケート

(ご本人またはご家族がお答え下さい)

ここは、記入されないで結構です。

病院名 \_\_\_\_\_

ID \_\_\_\_\_

骨折 No. \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_ 様      年齢 \_\_\_\_\_ 歳

ご住所 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_

\* 他のご連絡先 (ご家族等) : 氏名 \_\_\_\_\_ 続柄 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_

記入日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

記入者 ご本人      他 (続柄 \_\_\_\_\_ )

## 【 1 】骨折前の生活状況について伺います

\* あてはまる項目の数字に○をつけてください。

\* 項目によっては、「できないわけではないが、周りの人にやってもらっている」あるいは、「習慣としてやってない」といったこともあるかと思えます。

その場合は、「やるとしたら」と想定してお答え下さい。

\* 「自力でできる」というのは、「周りの人に手を貸してもらわなくてもできる」ことを指します。道具を使ったり、家族の人などに見てもらっていても、自分でできれば「自力でできる」とお考え下さい。

\* できる度合いが日によって違う場合は、調子の良い時のことでお答え下さい。

ここから右側  
は記入しなく  
て結構です。

### ( 1 ) ひとりで休まずにどれほど歩けますか

1. 屋外60分以上      2. 屋外30分以上60分未満      3. 屋外30分未満  
4. 屋内のみ・一人で歩ける  
5. 屋内のみ・介助が必要  
6. 歩行不可・移動は車椅子のみ、自力で乗り移れる  
7. 車椅子に自力で乗り移れない

3   
3   
2  
1  
0

### ( 2 ) 歩くときに何か補助具を使いますか

- 屋内 : 1.杖なしで歩ける    2.杖歩行    3.つたい歩き    4.歩行器    5.その他 (      )  
6.歩行不可  
屋外 : 1.杖なしで歩ける    2.杖歩行    3.押し車    4.その他 (      )    5.歩行不可

### ( 3 ) 階段の昇り降りは

1. 自力で昇りも降りもできる  
2. 手すり、杖など支えがあれば自力で昇り降りできる  
3. 自力では昇りも降りもできない

2   
1  
0

### ( 4 ) 外出についてお尋ねします。交通手段を使うような遠くへの外出 のことでお答え下さい

1. バスや電車に乗ったり、車を運転して一人で外出できる  
2. 外出にはタクシーを利用する  
3. 付き添いがあればバスや電車に乗れる  
4. 助けをかりて、自家用車・タクシーや福祉サービスを利用して外出する  
5. ほとんど遠くへは外出しない

5   
4  
3  
2  
1

☆ すべて骨折前の様子をお答えください。 ☆

(5) 食事のしたくは

- 1. 買い物も含めて、炊事も盛り付けも一人でできる
- 2. 家に材料があれば食事をつくれる
- 3. あたためたり盛り付けはできるが、材料からはつukれない
- 4. 誰かに用意してもらわなければならない

\* 習慣的にしない場合も、やるとしたら、と想定して下さい。

4  
3  
2  
1

(6) 食事は

- 1. ひとりで食べられる (自分でつukれなくてもかまいません)
- 2. 手伝ってもらえば食べられる
- 3. 自力ではまったく無理

\* 口からの食事ができず、胃チューブなどを使用している場合も、何か口にするときのことをお答え下さい。

2  
1  
0

(7) 排せつは

- 1. 自力で全て可能
- 2. 着物の上げ下げを手伝ってもらえば可能
- 3. 自力であとしまつ不可能

\* オムツ使用の場合は、オムツ交換時のことをお答え下さい。

2  
1  
0

(8) 入浴は自力で 1. 可能 2. 不可能

1  
0

(9) 着替えは

- 1. 自力で全て可能
- 2. 一部自力で可能
- 3. 自力ではまったく無理

すべて骨折前の様子をお答えください

2  
1  
0

(10) 身づくろいは 1. 全て可能 2. 自分だけでは不可能な点あり

1  
0

(11) 起き上がりは

- 1. 手伝いなしで起き上がる (3):1~6→
- 2. 手伝ってもらえば起き上がる (3):7→
- 3. 起き上がれないが、起こしてもらえば座ってられる
- 4. 座ってもいられず寝たきり

\* 電動ベッドや何らかの道具を使っている場合も、自力でできる場合は、「手伝い無しで」とお考え下さい。

3  
2  
2  
1  
0

(12) 電話はかけられますか

- 1. ふつうに受けもかけもできる
- 2. よく知っているところにはかけられる
- 3. かかってきたら受けられるが、かけられない
- 4. 電話はあつかえない

\* 補聴器などの道具を使ってかける場合や、電話を目の前に持ってきてくれれば自分でかけられるという場合も、普通にかけられる、と考えて下さい。また、難聴で電話が使えない場合は、電話はあつかえない、と考えて下さい。

4  
3  
2  
1



(13) 買い物はできますか

1. ふつうに買い物できる
2. 少ない品数の買い物ならできる
3. 買い物には付き添いが必要
4. 買い物には行けない

すべて骨折前の様子をお答えください

\*習慣的にしない場合も、やるとしたら、と想定して下さい。

4  
3  
2  
1

(14) 家事はできますか

1. 修繕などの大きな仕事以外はひとりでできる
2. 洗い物や寝具の用意が十分できる
3. 十分ではないが、身の回りのことならできる
4. 誰かの助けを必要とする
5. 家事はまったくできない

\*習慣的にしない場合も、やるとしたら、と想定して下さい。

5  
4  
3  
2  
1

(15) 洗濯はできますか

1. 小さいもの(下着など)も大きいものもすべてできる
2. 小さいものはできる
3. 自分ではできない

\*習慣的にしない場合も、やるとしたら、と想定して下さい。  
また、干す必要のある場合は、干すところまでできるかどうかでお考え下さい

3  
2  
1

(16) くすりの管理は

1. 自分で飲み方を守って飲むことできる
2. 誰かに用意してもらえば、きちんと飲むことができる
3. 誰かに飲ませてもらっている

3  
2  
1

(17) お金の管理は

1. 家計簿または通帳などの管理が一人でできる
2. 日常の支払いはできるが、複雑な管理はできない
3. 全くお金はあつかえない

3  
2  
1

(18) 以下は、厚生労働省の「高齢者の日常生活自立度」の基準です。  
どれに当てはまるかお答え下さい(今までの質問と重複する部分もありますが、ご容赦下さい。)

1. 交通機関などを利用して外出することができる
2. 近隣なら外出することができる
3. 介助により外出し、日中はほとんどベッド外で過ごす
4. 外出の頻度が少なく、寝たり起きたりの生活
5. 車椅子を使っているが自分でベッドから移れる
6. 介助により車椅子に移れる
7. 通常、ベッド上だけで過ごすが、自力で寝返りはできる
8. 通常、ベッド上だけで過ごし、自力で寝返りもできない

**( 1 9 ) 骨折したときの場所を伺います。**

1. 自宅
2. 施設 ( 1. 特別養護老人ホーム 2. 老人保健施設  
3. 長期療養型病院 4. 一般病院)
3. 有料老人ホーム
4. その他 (
5. 不明

**( 2 0 ) 骨折したのは屋内でしたかそれとも屋外でしたか。**

1. 屋内
2. 屋外
3. 不明

**( 2 1 ) 骨折した原因を伺います。**

1. 身体をひねった時
2. 立っている時、歩いている時、ベッドや椅子に移ろうとした時
3. 階段、段差を踏み外して落ちた
4. ベッド、椅子などの上から落ちた
5. 交通事故
6. 記憶していない
7. オムツ交換の時などの介護中の骨折
8. 何もしないのに、自然に骨折した
9. 不明

**【 2 】骨折前の最近の状況についてお伺いします。**

**( 1 ) 介護保険の要介護認定はうけていますか**

1. 申請してない
2. 自立と認定された
3. 要支援
4. 要介護 1
5. 要介護 2
6. 要介護 3
7. 要介護 4
8. 要支援 5

**( 2 ) お住まいは次の内のどれにあたりますか**

1. 自宅 ( 息子や娘の家を含む)
2. 有料老人ホーム
3. 老人保健施設
4. 特別養護老人ホーム
5. その他 ( )

**( 3 ) 同居家族についてお答え下さい。**

1. 一人暮らし
2. 配偶者と二人
3. 娘または息子家族と同居
4. その他 ( )

---

ご協力ありがとうございました。看護婦または担当医にお渡してください。

# 大腿骨頸部骨折チャート

病院名 \_\_\_\_\_

ID \_\_\_\_\_ 骨折No. \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ M・F

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

年齢 \_\_\_\_\_ 歳

入院日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

受傷日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

①診断 1.右 2.左 3.両側

1.内側 Garden-stage: I II III IV 判定不能

2.外側 転子部 転子下 その他

Jensen-type: I II III IV V

Evans-type: type I: grade 1 2 3 4 type II

## ②既存合併症 (Charlson Index)

- 1点: 1. 心筋梗塞 (症状を伴うもの。陳旧性を含む) 2. 鬱血性心不全 (診断あり、又はEF<50%)  
3. 末梢血管障害 (手術またはPG点滴の既往あり) 4. 脳血管障害 (ATTACKの既往有り)  
5. 痴呆 (MMSEの結果による) 6. 慢性閉塞性肺疾患 (診断の既往あり)  
7. 膠原病 (ステロイドの既往あり) 8. 胃潰瘍 (5年以内に手術の既往あり。)  
9. 慢性肝炎 (検査上、肝機能障害あり) 10. 糖尿病 (経口薬以上)
- 2点: 11. 片麻痺 12. 腎障害 (透析中または慢性腎不全の診断あり)  
13. 合併症を伴う糖尿病 (かつ、インシュリン使用中)  
14. 固形癌 (最近5年以内に、治療歴あり。または、治療不可とされたもの)  
15. 白血病 (寛解状態を含む) および他の造血器の癌 16. 悪性リンパ腫 (寛解状態を含む)
- 3点: 17. 肝硬変 6点: 18. 転移癌 19. AIDS

## ③圧迫骨折の有無 (圧迫骨折椎体に○を付けて下さい)

T4	T5	T6	T7	T8	T9	T10	T11	T12
L1	L2	L3	L4	L5	無			

## ④治療

手術日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

治療方法 1.手術 2.積極的保存 3.手術不可

手術法 1.スクリュー 2.DHS 3.PFN 4.ムーア 5.バイポーラ 6.THR  
7.エンダー釘 8.ガンマネイル 9.プレート 10.その他 ( )

手術時間 \_\_\_\_\_ 出血量 \_\_\_\_\_

## ⑤退院

退院日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

退院先 1. 自宅 (家族宅を含む) 2. 施設 (1. 特養 2. 老健 3. 療養型病床 4. 一般病院)  
3. 老人ホーム 4. その他 ( ) 5. 不明

## 【 認 知 機 能 】

(Mini-Mental state Examination:Folstein MF)

医師：

日付 年 月 日

今から、あなた（患者さん）にいくつかの質問をします。わかる範囲でお答えください。

	質問内容	回答	得点
1. 5点	今年は平成何年ですか。 春夏秋冬のうち、今の季節は何ですか。 今日は何曜日ですか。 今日は何月何日ですか。	年   曜日  月  日	
2. 5点	今いるところの都道府県はなんですか。 ここは、何区（市）ですか。 この付近で知っている駅名を1つあげてください。 ここは、なに病院ですか。 ここは、何階ですか。	県  区(市)   病院  階	
3. 3点	物品名3個(エンピツ、メガネ、ツクエ)。 検者は物の名前を1秒間に1個ずついう。 その後、被検者に繰り返させる。 正答1個につき1点を与える。3個すべていうまで繰り返さず (6回まで)(後でもう一度伺う事を伝える) 何回繰り返したかを記せ。	        回	
4. 5点	100から順に7を引く(5回まで) (93, 86, 79, 72, 65) 計算不可の場合「フジノヤマ」を反対から言ってもらおう。		
5. 3点	3で示した物品を再度復唱させる。		
6. 2点	(時計をみせながら)これはなんですか。 (鉛筆をみせながら) これはなんですか。		
7. 1点	次の文章を繰り返す。 「みんなで、力を合わせて 綱を 引きます」		
8. 3点	(3段の命令) 「右手にこの紙を持ってください」 「それを半分に折りたたんでください」 「床の上に置いてください」		

(裏面につづく)

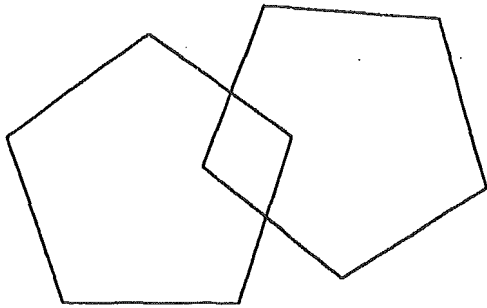
(調査者記入)

施行上の問題点	0 無 1 あり
ありの場合 その理由	1. 聴力 2. 視力 3. 言語障害 4. 身体障害 5. 意識障害 6. その他( )

9. 1点	(次の文章を読んでその支持に従ってください) <b>「目を閉じてください」</b>		
10. 1点	(なにか文章を書いてください)		
11. 1点	(次の図形を書いてください)		
			得点合計 /30点

10. (なにか文章を書いてください)

(11の図)



## 研究成果の刊行に関する一覧表

1. 阿部勉, 土田典子, 石橋英明, 山本精三.クリティカルパス作成のための,大腿骨頸部骨折術後リハビリテーション長期・短期プログラムの比較検討.日本老年医学会雑誌(0300-9173)38 巻 4 号 Page514-518
2. 石橋英明:骨と関節 日常遭遇する疾患と今後の展望/骨折の合併症とその対策. 日本医師会雑誌(0021-4493)126 巻 5 号 Page688
3. 石橋英明:骨粗鬆症-骨折に伴う寝たきり高齢者の合併症. 日本臨床 60 巻増刊 3 号: 507-513
4. 辰巳 徹志、山本精三、石橋 英明:高齢者大腿骨頸部骨折患者の生命予後 骨・関節・靭帯 15 (2): 139-144、2002

\* 4 については、別刷未着

20010607

以降は雑誌/図書等に掲載された論文となりますので  
P112「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください